

平成21年度の主な行事

《 酪農フォーラム 》

今後の根釧酪農の展開方向を探るため、生産技術、農業情勢及び経済政策など各界から招いた講師を中心に、地域の関係者と意見交換する場として不定期に開催しています。本年度は1回開催し、約80名の参加者があり、試験研究や技術開発に反映さるべく貴重な意見等を頂きました。



厚いエールを送る西山参与

第22回(平成21年10月16日)

「根釧酪農に期待するもの」ー酪農地帯における金融機関の新たな取組みー

北海道銀行法人営業部の西山泰正参与に、各地のガンバル農業生産法人の活動と地域ブランド創設など農業分野への金融機関の新たな取組みを紹介して頂き、農商工連携による北海道の酪農と消費者を結びつけることの大切さと人のネットワーク作りを提案された。



熱心に講演に聞き入る出席者

《 試験場公開デー 》

第6回目を迎えた今年は、450名の町内外の方々にご来場頂きました。パネル展示とクイズラリー、バスを使った牛舎見学や体験コーナーをとおして、酪農と試験場の仕事を幅広く紹介しました。また、関係の方々の協力を受けた農畜産物の即売コーナーは、たいへん好評でした！



右上：哺乳体験コーナー

(仔牛と直に触れ合えるこのコーナー。牛が好きになってくれるとうれしいですね！)

右：子供のための繁殖学セミナー
(将来研究員になれるかな？)

左：バター作り体験

(毎年行われているバター作り体験。子供さんを中心に盛況でした！)



《 酪農講座 》

平成 21 年 6 月 8-9 日、実地研修の酪農講座として、前年に引き続き標茶町虹別と磯分内の酪農家の放牧草地で、根釧農試所有の簡易更新機（シードマチック）による放牧用イネ科牧草メドウフェスクの追播作業を公開しました。地域の酪農家などの参加を得て、当场職員の操作による簡易更新作業を実演しました。

また、6 月 30 日には、標茶町阿歴内でチモシー晩生種「なつさかり」の生育状況について酪農家、釧路支庁、釧路・根室普及センターから約 20 名が参加して現地検討会を実施しました。この中でチモシー「なつさかり」の刈り取り時期別の優占割合や年 1 回刈りの可能性について情報交換を行いました。



急傾斜放牧地への簡易追播種作業



チモシー晩生種「なつさかり」の現地検討会

根釧農試酪農研究通信第 19 号 （2010 年 3 月発行）

発行／北海道立根釧農業試験場

〒086-1135 北海道標津郡中標津町旭ヶ丘 7 番地

TEL 0153(72)2004 ・ FAX 0153(73)5329